

## 「第3回ぱあとなあ山口全体会議

・第3回弁護士会との連絡協議会」を開催しました。

平成26年12月6日（土）12時30分から山口県身体障害者福祉センターで、第3回ぱあとなあ山口全体会議が開催され、ぱあとなあ会員50名が出席しました。

全体会議は、委員長の挨拶に続き、次のような事項が報告されました。

- (1) 2014年度都道府県ぱあとなあ担当者会議について
- (2) 平成26年度法テラス山口地方協議会について
- (3) 8月活動報告書の報告について
- (4) 業務監査委員会の開催について
- (5) 養成研修修了者フォローアップ研修について
- (6) 成年後見人等受任に関する御理解・ご協力の文書について
- (7) 成年後見受任者養成研修の受講要件について

次に、以下の事項について協議が行われました。

- (1) ぱあとなあ山口の専属事務員雇用の検討について
- (2) 寄付金の取り扱い規程案について

全体会議の最後に、成年後見活動について意見交換をおこないました。

### ✿意見交換✿

#### テーマ：

- ・『社会福祉士だからこそできる（やっている）成年後見活動（特に身上監護）はなにか』
- ・『月1回（以上）の被後見人の面会時にやっていること。やるとより良い後見活動になると思うこと』

#### ★対人援助の専門職として

- ・ 被後見人等に寄り添い、本人の希望に添えるように支援をしている。
- ・ ケース会議へ参加し、問題解決に取り組んでいる。
- ・ 本人との信頼関係が築きやすい。
- ・ よく話を聞いて、細かいところに気配りができる。
- ・ アセスメントが得意である。生活歴に着目し、その人らしい生活を大事にした支援ができる。

#### ★ネットワークを活用

- ・ 社会福祉士として関係機関とのネットワークを活用し、利用者の利益になるように支援ができる。
- ・ 社会福祉士同士のネットワークを構築し、相談やスーパービジョンできる。
- ・ 関係機関から信頼をされている。

#### ★信頼関係の構築

- ・ 被後見人の家族との交流・関係を構築できる。
- ・ 月1回面会することで、被後見人や施設との信頼関係の構築につなげられる。

- ・ 福祉専門職だからこそ、関係機関の話が分かるし、話が通じやすい。

#### ★情報収集

- ・ 被後見人等を支援するために、できるだけ多くの情報収集をしている。
- ・ 月に1回以上面会を行うので、被後見人の状態変化に気づきやすい。

上記以外にも沢山の意見が出ました。

専門職後見人として後見活動を行う意義を感じながら、そして同じ立場の仲間と承認しあいながら活動して行くことが重要だと感じました。



【ばあとなあ山口全体会議】

14時30分からは、第3回弁護士会との連絡協議会が開催され、弁護士18名が参加されました。

連絡協議会では、各圏域の勉強会の実施状況と今後の予定について圏域の代表より報告がありました。

次に「両士会の協力の発展のために」というテーマで、各委員会の委員より、会の組織、運営状況についての報告がされ、両士会が協働で実施できる活動について意見交換を行いました。

石原詠美子弁護士より、山口県弁護士会高齢者・障害者権利擁護センター委員会の活動報告がありました。また、太田弁護士より、法テラスでの、福祉関係者サポートダイヤルについての情報提供がありました。

来年度も両士会で協力、連携を図り活動して行くことを確認し、16時30分に閉会しました。



【弁護士との連絡協議会】

## ❁お知らせ❁

### ① 次回以降の定例会議、弁護士会との連携

第4回 平成27年1月31日(土)

### ② 各圏域勉強会の実施状況

下関 : 8月29日(金)実施済み。

次回1月実施予定。詳細が決まり次第、MLにてお知らせします。

宇部 : 10月30日(木)実施済み。

次回未定。詳細が決まり次第、MLにてお知らせします。

山口 : 9月27日(土)実施済み。

次回、1月17日(土)14時から実施予定です。

周南 : 全体会議がある月以外は、毎月実施しています。

岩国 : 次回、2月頃に平生町辺りで開催予定です。